

令和8年7月9日作成

# 富士箱根伊豆国立公園 田貫湖クマ対策手順書 (公開版)

田貫湖周遊歩道、田貫湖ふれあい自然塾、田貫湖富岳テラス、田貫湖キャンプ場、  
田貫湖畔広場、田貫湖北東部駐車場、休暇村富士

# 富士箱根伊豆国立公園 田貫湖クマ対策手順書

## 1. 背景

富士箱根伊豆国立公園の富士山地域に位置する田貫湖は、人口湖ではあるものの富士山西麓の唯一の湖水であり、富士山を眺望する絶好の地点であるため、身近なレクリエーションの場として多くの利用者が訪れる。一方この一帯を含む天子ヶ岳周辺は従来からツキノワグマ（以下「クマ」という。）富士地域個体群の生息地でもある。クマ富士地域個体群は静岡県レッドリスト（2020年）では絶滅のおそれのある地域個体群に指定されているものの、近年では富士宮市内で目撃情報が多数寄せられており、田貫湖においてもクマと人との遭遇の可能性がある。

## 2. 目的

絶滅のおそれのあるクマ富士地域個体群との共存を図りつつ、以下2点を達成するために、対策を明文化し関係者で共通の認識を持つため本手順書を整備するものである。

- ・公園利用者の安心安全を確保するため、平常時からクマによる人身被害を発生させないことに関係者一丸となって取り組む。
- ・それとともに、万が一被害が発生した場合や、その可能性が高い状況が明らかになった場合に、適切に対策を取れるよう準備する。

■なお、本手順書については運用しながら適宜点検・修正していくものとする。

## 3. 対象地域と用語の定義

- ・**田貫湖**：本手順書で対策の対象とする田貫湖とは、観光客等の一般利用者が使用する別紙1の図の示す施設・歩道の範囲とし、市道（田貫湖線道路）及び長者ヶ岳登山道は対象に含めない。なお、これは対象施設周辺での目撃情報の収集や対策等の実施を妨げるものではない。
- ・**歩道**：別紙1の図で示す歩道とし、歩道自体とその付帯施設（東屋やデッキ等）を含める。
- ・**施設**：別紙1の図で示す施設とする。
- ・**関係者**：別紙1の図で示す施設・歩道の所有者及び管理者並びにそれらの者から施設又は歩道の運営や維持管理等を委託・請け負っている者とする。

## 4. 対策

### (1) 平常時の対策

#### **リスクレベル0** 平常時の段階（クマ被害の未然防止）

クマが目撃されておらず、特に問題が生じていない状況。

#### ■対策

##### ①誘引物の管理 <各施設管理者>

ゴミなどの誘引物の管理を徹底する。

- ・ クマにとって人の食料、生ゴミ、グリストラップの油等（以下「誘引物」という。）は魅力的な食べ物であり、このような誘引物を一度でも摂取した餌付き個体は、誘引物へ急速に執着するようになり、人的被害につながる大きなリスクをもつことから、各施設管理者が責任を持って誘引物の管理を行うことは、最も重要な対策である。
- ・ 各施設の利用者に対して、残飯やゴミの適切な処理を行うよう要請する。

##### ②刈り払い <各歩道・施設管理者>

歩道や広場のうち、クマと人が遭遇しやすい場所周辺のササなどの下草を刈り払い、クマが近寄りにくい環境をつくる。

- ・ 通常、クマは人に姿を見られることを嫌う。歩道脇ぎりぎりまでササ等が繁茂していると、クマと人とが至近距離に近づくまで気づかず、その結果突発的な遭遇が起きる可能性が高くなることから、クマの出没が想定される場所において、不意の遭遇が起きる可能性を減らす。
- ・ クマと人が遭遇しやすい場所の具体例としては、見通しが悪い場所（歩道がカーブしていて先が見えにくい等）、クマの移動ルートや滞在しやすい場所（目撃が多い場所、季節的にクマの好む自然の餌がある場所等）が挙げられる。
- ・ 公園利用上、景観を損ねないように、刈り払い時期や範囲等に配慮する。特に田貫湖畔には絶滅危惧種に指定されるハコネグミ等の湿性植物が生育しているため留意する。

##### ③普及・啓発 <各関係者>

各施設内及びHP、SNS等で利用者向けに以下情報発信を行う。

- クマの基本的な生態（田貫湖周辺にもクマが生息していること、過去田貫湖にもクマが出没したことがあることなど）
- 各自でゴミの持ち帰りや食料の管理等の徹底をすること
- クマを含む野生生物に餌やりをしないこと
- クマに遭遇しないための対策（見通しの悪い場所では声を出す等人の存在を知らせる、周囲に気を配る等）
- クマに遭遇した場合に避けるべきこと（接近しての観察や写真撮影、大声で叫ぶ、走って逃げる等）

#### ④情報収集 <各関係者>

目撃情報などの収集を実施する。

- ・ 対象地域及び周辺における目撃情報を収集する。また、利用者に対して目撃情報を収集していることを周知する。目撃情報が寄せられた場合、別紙2の連絡フローに則り速やかに関係機関全員に連絡（メール）する。
- ・ 各機関は、状況が危険と判断された場合は、当手順書を参考に、速やかに危険時の対策を関係機関と協議し実施する。

#### （２）危険時の対策

あらかじめ、クマの出没状況に基づく危険度水準（リスクレベル）を設定しておくことで、危険度を迅速に判断し、関係機関が共通認識を持って、役割分担しながら適切な対応がとれるようにする。

##### **リスクレベル1** 第1段階（情報の発信強化）

クマが歩道及び施設敷地より目撃される、歩道及び施設敷地上やその周辺に新しい痕跡（足跡、糞、食痕、クマ棚等）が発見されるなど、クマの情報が得られた状況。

##### **■対策**

#### ○情報発信・誘引物管理の徹底<各関係者>

- ・ 歩道入口等での注意標識（クマ出没情報）の設置
- ・ 各施設での口頭や掲示、ホームページ、SNS などによる注意喚起
- ・ 関係機関への情報提供（別紙2の連絡フローに則り速やかに関係機関全員に連絡（メール）する）
- ・ 地区内のクマの痕跡（糞や食痕）の調査、可能であれば出没要因の推定
- ・ 地区内の誘引物の調査、可能であればその除去

※誘引物には、人工物以外にも自然の餌資源（田貫湖に生育しているクリ、ミズナラ、アケビ、ノアザミ等の植物の他、アリやハチ等の昆虫、シカ等の死体等）も含まれる点に留意

##### **リスクレベル2** 第2段階（現場の確認・注意喚起）

クマが歩道及び施設敷地より至近距離で1日に複数回又は連日目撃された状況。被害を未然に防ぐために必要な活動を迅速に決定し、実施することが必要。

##### **■対策**

#### ○第1段階で実施する対策をさらに徹底する<各関係者>

### ○パトロール・歩道の一部閉鎖検討＜各歩道管理者＞

- ・クマの出没状況の確認（現場確認、パトロールの実施、自動撮影カメラの設置等）を行い、クマが田貫湖に留まっているか、誘引物がないか確認する
- ・クマ目撃地点近傍の歩道への利用者の立ち入り制限の検討

### ○一部施設の閉鎖検討＜各施設管理者＞

- ・クマとの遭遇のおそれがある施設について閉鎖を検討

## ■歩道・施設閉鎖及び解除の基準

- ・人への警戒行動が見られない個体の場合、3日間の期間閉鎖を行い、その後解除する。ただし、期間閉鎖中に、パトロールによってクマの対象地域での継続的な滞在が確認された場合は、さらに3日間延長し、リスクレベル3への格上げを検討する。

### リスクレベル3 第3段階（利用者への被害防止）

第2段階の公園利用者にとって危険な状況が継続、もしくは、餌付き個体、威嚇行動、接近・付きまといを行う問題個体が確認された状況。

## ■対策

### ○歩道の閉鎖＜各歩道管理者＞

- ・立ち入り制限（職員等関係者も含む）
- ・富士宮市に対して、捕獲等安全確保のための措置実施を要請

### ○一部施設の閉鎖＜各施設管理者＞

- ・クマとの遭遇のおそれがある施設について閉鎖
- ・富士宮市に対して、捕獲等安全確保のための措置実施を要請

### ○歩道・施設閉鎖情報の発信＜各関係者＞

- ・第1、2段階での情報発信に加えて、歩道・施設の閉鎖情報も利用者に発信する

## ■歩道・施設閉鎖解除の基準

問題個体の個体識別が斑紋、DNA等により行われており、確実に問題個体が捕獲されたことが確認できた場合は、問題個体の捕獲当日より歩道・施設の閉鎖解除を可能とする。

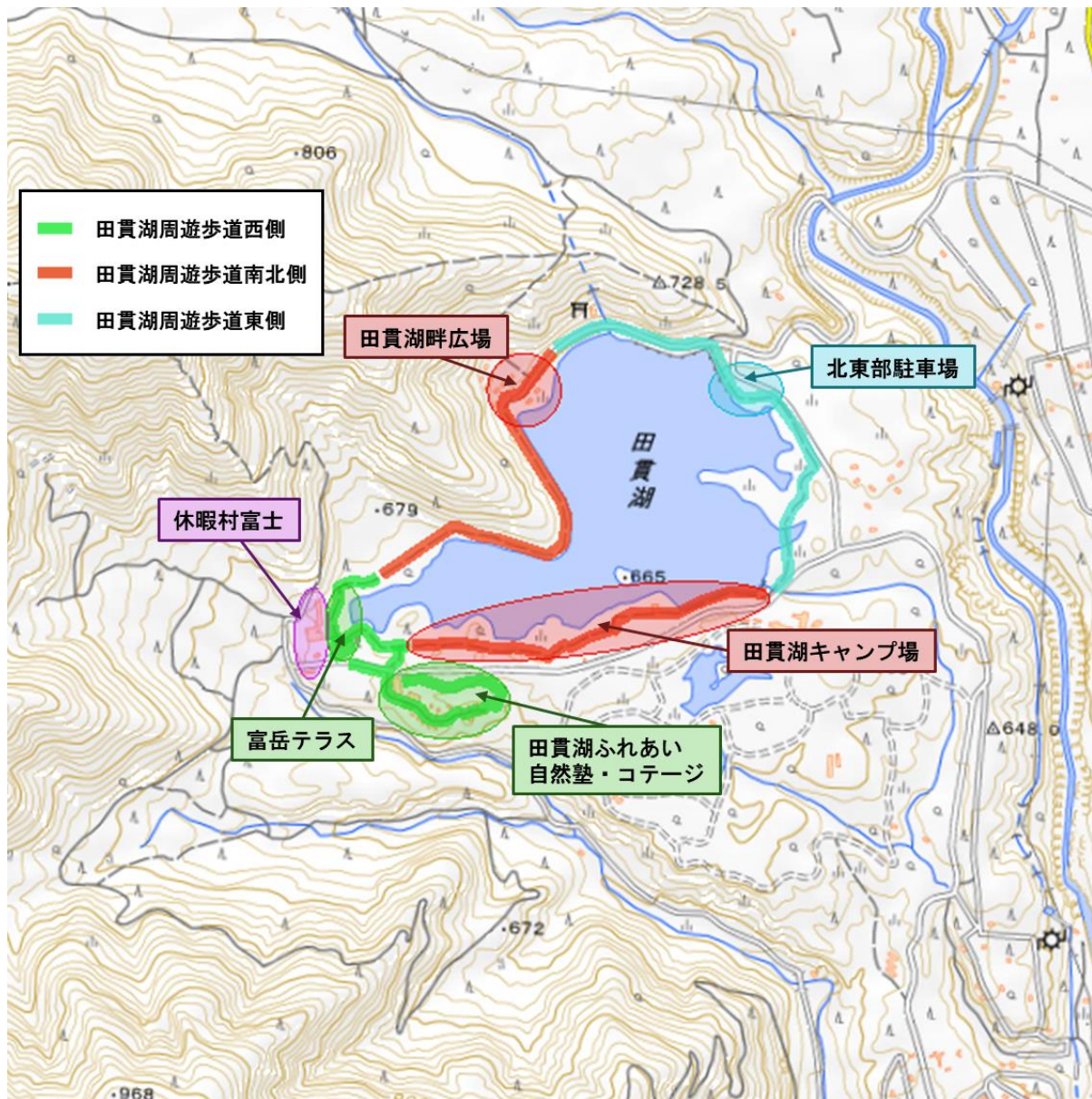
個体識別は行えていない場合は、問題個体の可能性のある個体が捕獲された日より1週間程度田貫湖でクマの目撃情報や被害がなければ、歩道・施設の閉鎖解除を可能とする。

問題個体の捕獲を試みたが、何れのクマも捕獲できなかった場合は、関係機関で協議のうえ、田貫湖で1週間程度クマの目撃情報や被害がなければ、歩道・施設の閉鎖解除を可能とする。



## 別紙1 富士箱根伊豆国立公園 田貫湖クマ対策手順書 対象地域

観光客等の一般利用者が使用する施設・歩道の範囲とし、市道（田貫湖線道路）及び長者ヶ岳登山道は対象に含めない。なお、これは対象施設周辺での目撃情報の収集や対策等の実施を妨げるものではない。

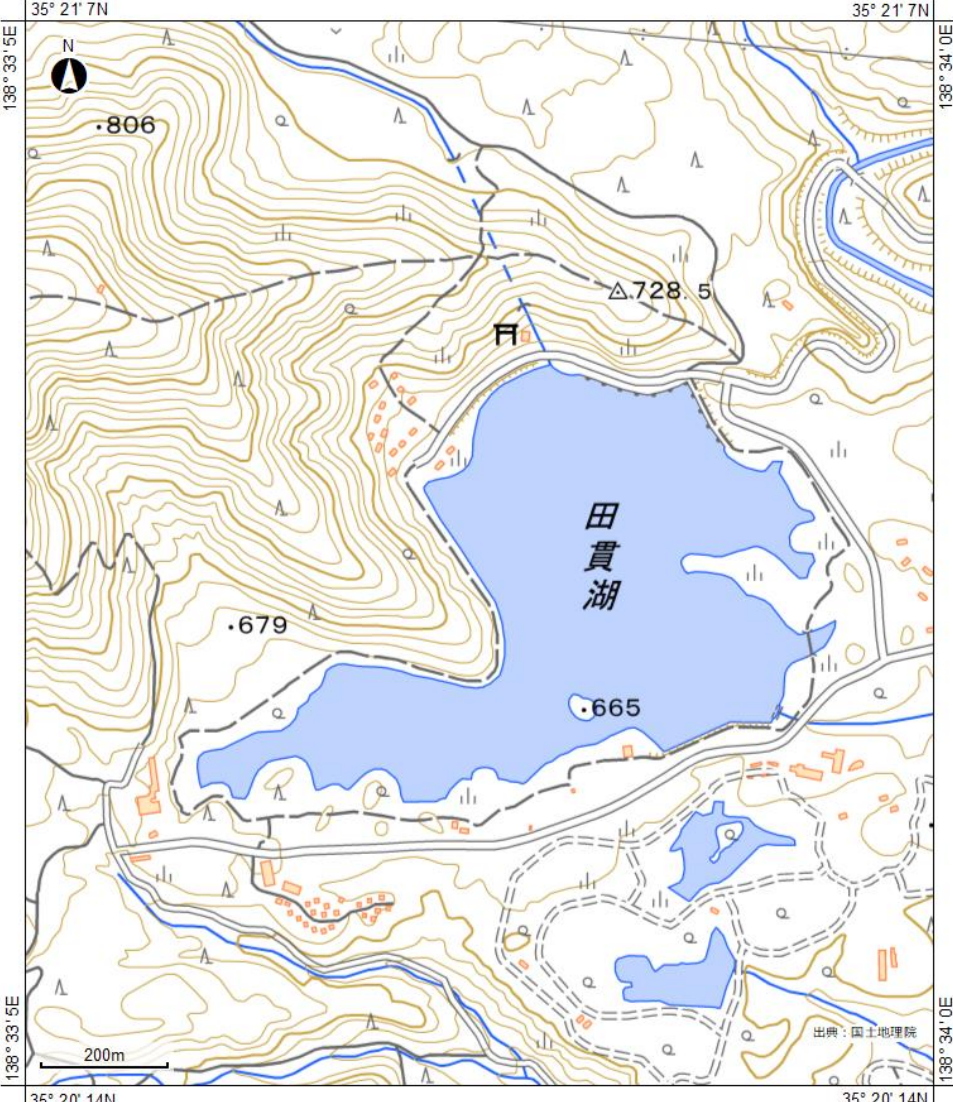


※着色エリアはイメージであり正確な範囲を示すものではない

## 別紙2 田貫湖 クマ目撃情報等連絡フロー

※個人情報保護のため、個人の氏名、連絡先等に係る記載は非公開とし、空白にしています。

参考様式 クマ目撃情報共有フォーム

|           |                                                                                                                            |                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目撃日時      | 年 月 日 午前・午後 時 分 (天候: )                                                                                                     |                                                                                                |
| 目撃場所      | <p>※目撃者の地点に×を、クマの地点・クマの向かった方向に→を記す</p>  |                                                                                                |
| 目撃状況・クマ情報 | 【目撃状況】                                                                                                                     | 【クマ情報】                                                                                         |
|           | 同伴者 (有 名 / 無)                                                                                                              | <input type="checkbox"/> 単独 {成獣・仔・不明}                                                          |
|           | 予防対策 (有: / 無)                                                                                                              | <input type="checkbox"/> 複数( 頭) {成獣( 頭)・仔( 頭)・不明}                                              |
|           | その他 (遭遇した際の周囲の環境等)                                                                                                         | <input type="checkbox"/> クマの行動 (威嚇行動、接近・付きまといの有無)<br><input type="checkbox"/> クマの大きさ、斑紋等個体識別情報 |
| 関係機関の対応策  |                                                                                                                            |                                                                                                |



## 関連情報

- ・ 国立公園に出かける前に知っておきたいクマのこと（環境省 HP）

<https://www.env.go.jp/nature/nationalparks/about/bear/>

- ・ 静岡県のツキノワグマ（静岡県 HP）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/wild/1017680.html>

- ・ クマにご注意ください（富士宮市 HP）

<https://www.city.fujinomiya.lg.jp/1030300000/p002197.html>